

# 地域の皆さんで互いに助け合いましょう

## 共助・近隣住民の助け合い

日常から隣近所のコミュニケーションを図ることが、安全なまちづくりの基本です。



### 自主防災組織の取組みが大切です

大規模な災害では、火災や道路の寸断などのさまざまな被害が広範囲に発生しますので、被害を軽減するため、お互いに協力し合うことが必要です。防災という共通の目的を持って活動する地域の皆さんの集まりを自主防災組織といいます。

### 地域の防災活動に参加しよう!

地震などの災害はいつ起きるか分かりません。そのため、日頃から防災訓練に参加して、自分の命を守る方法を学びましょう。そして、みんなで助け合いましょう。1人では大変なことでも、みんなで助け合うことでよりたくさんの命を救うことができます。

避難所の運営訓練もその1つです。災害はみんなが被害者です。避難所ではお客さんなんていません。その中で一人ひとりが自分の役割を理解して、みんなのために行動すれば、安心できる避難所が出来るでしょう。訓練はその第一歩です。



### 要 配慮者への心配り

高齢者や障がいのある人などの要配慮者が必要とする支援は、移動の介助や災害情報の提供、避難所での配慮などさまざまです。

いざという時の避難やその方法などについて、日頃から隣近所でお互いに確認しておきましょう。

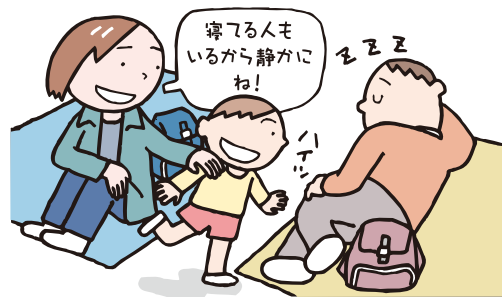


### 避難所生活の心得

災害時避難所では、大勢の人と共同生活を送ることになります。プライバシーの確保が難しいなど、不自由なことがたくさんありますが、互いに協力しあい、譲り合うことが大切です。

#### 周りの方への心配りをしましょう

みんな、つらい思いをしています。お互いを思いやり、困っている人がいたら助けるなど、協力し合いましょう。



#### ペットも家族

ペットも大事な家族の一員です。「非常持出品」の中にペット用品も用意しておき、ルールに従い周りの人に迷惑をかけないように心がけましょう。



#### 多様なニーズへの配慮を

高齢者、障がい者、男女のニーズの違いなど多様な視点に配慮しましょう。また、女性専用の物干し場や更衣室、授乳室の設置など、女性や子育て家庭のニーズへの配慮が必要です。

### 避難所で必ず行うこと



- ① 家族の名前や住所を登録する。
- ② 介助や医療の必要な方は申し出る。
- ③ 持病のある方は申し出る。
- ④ 起床、就寝時間を守る。
- ⑤ ごみはルールに従い分別する。
- ⑥ 煙草は定められた場所で吸う。
- ⑦ 自宅を留守にする場合は鍵をかける。
- ⑧ その他避難所運営委員会で定められたルールを守る。

#### 市民防災マニュアル

災害からご家庭や地域を守る防災の手引き

市民防災マニュアル



#### 水害ハザードマップ(東淀川区)

東淀川区では、淀川および神崎川・安威川の氾濫、内水氾濫が想定されています。

東淀川区水害ハザードマップ



#### おおさか防災ネット

地震・津波・台風情報や気象に関する注意報・警報、府内に発表される避難勧告や指示情報、ライフライン情報へのリンクなど幅広い防災情報を提供しています。

また、携帯メールアドレスを「防災情報メール」に登録しておくと、気象・地震・津波情報などがメールで配信されます。

登録方法/解除したい場合も同じ方法です。

[[touroku@osaka-bousai.net](mailto:touroku@osaka-bousai.net)]へ空メールを送信すると登録(解除)用メールが送られてきます。バーコードリーダー機能付き携帯ならQRコードを読み取り送信してください。



#### ●東淀川区出前講座「まいど!東淀川こぶし隊」の申込みを受け付けています。

東淀川区の地域特性や災害に対する基礎知識を習得し、防災・減災について考えましょう!



#### ●東淀川区防災マップ 災害時の避難場所の確認

